



さくらんぼ(おうとう)の花



桃の花



梨の花



リンゴの花

# 安心安全な増毛ブランドづくり

増毛町は北緯43度以北に位置しながらも、日本海を流れる対馬暖流により温暖な気候と暑寒山麓に囲まれた扇状地帯の良質な水に恵まれ、稲作と果樹を中心に農業がいとなまれてきました。

恵まれた気候と風土がつくりだす米は低タンパク米で食味の良い米産地として知られており、くだものは「北限の果樹地帯」としてその知名度も高く、濃厚でおいしいくだもの産地として知られています。

近年は安全で安心な農業をめざし減農薬栽培など様々な取り組みによりクリーン農業を実践推進しており、また、農産物の付加価値を高める取り組みとして農産物の加工やブランド化をめざし町内の観光施設・商店街やJAなど関係機関と連携しながら消費販売の拡大に努めています。

## クリーン農業をめざして



北海道安心ラベル

本町における農業生産では、北海道が推奨する安心で安全なクリーン農業をめざし、土づくりや減農薬栽培・減化学肥料などに1998年から積極的に取り組んでおり、りんご・洋なし・さくらんぼ・ほうれん草が「北の農産物表示制度(イエスクリーン)」に認証登録されています。中でも増毛町果樹協会が中心となる果樹栽培が環境保全型農業推進コンクールにおいて全国環境保全型農業推進会議会長賞を受賞するなど高い評価を得ております。





## 林業

増毛町は、森林資源に恵まれており、森林面積は約33,000haで総面積の約90%を占めています。地球温暖化や環境悪化が叫ばれる中、増毛町森林整備計画のもとで、森林の持つ水土・環境保全などの公共的な機能の向上のため、除間伐、下刈りなどを実施しており、計画的な造林や保育を進め、森林空間の保全・活用を図っています。

# 将来を担う農業者の育成



低タンパク米としてブランド化された「南るもい産米」は、札幌や旭川といった大型店の主力となる商品として好評を得ており、暑寒の清らかな水でつくられる魅力ある米をはじめ、増毛町の大地から生まれる野菜やそばづくりなど、担い手の育成を進めながら増毛の農業発展に努めています。

